

韓国文献情報学教育の現在

権恩璟 (大邱大学校文献情報学科教授)

jollykwon@hotmail.com

I . 文献情報学の変遷

- 1957 年 : 延世大学校文科大学に最初の図書館学科および大学院課程が設立
1959(梨花女子大学校)、1963(中央大学校)、1964(成均館大学校)
- 1960 年代 : 社会科学としての学問定義
ドキュメンテーション、情報学の導入主張
- 1970 年代 : 学問的体系化のための努力、情報学との関係究明の努力
学名変更についての論議(文献科学または文献情報学)
1974 年、成均館大学校に最初の博士課程開設
- 1980 年代 : 学科及び学会の名称変更
1985 年 各々の大学で学科名称変更が進み、
1992 年「韓国図書館学会」「韓国文献情報学会」
- 1990 年代 : 1993 年 学会誌名『図書館学』『韓国文献情報学会誌』
情報学関連科目の多様化
- 2000 年代 : 2000 年から「公共機関の記録物管理に関する法律」が施行されることな
り、記録管理専門家への需要が拡大
文献情報学科で関係科目を開設、または学科間協同課程を開発(大学院に
文献情報学科、歴史学科、行政学科の協同教科として記録管理学科を設
置)

- * 学会 : 1970 韓国文献情報学会 (Korean Society for Library and Information Science)
1974 韓国図書館・情報学会 (Korean library and Information Science Society)
1984 韓国情報管理学会 (Korea Society for Information Management)
1985 書誌学会 (The Institute of Bibliography)
韓国記録管理学会

II . 文献情報学教育機関の現状

1 . 教育機関の種類と数

種 類	大 学 数	募集定員
4 年制総合大学校 (文献情報学科)	32	1,588
2 年制短期大学(文献情報科)	8	860
計	40	2,448

一般大学院 (32 の学科) : 修士課程 23、博士課程 11、

教育大学院 (司書教育専攻) : 13

司書教育院 (司書養成機関) : 3

2. 文献情報学科の教育目標

第 1 の目標になっているのは、有能かつ資質を有する情報専門家(専門司書、情報専門司書、主題専門司書、情報処理専門家、情報検索専門家)の養成

3. 教科課程の構成及び変遷

1989 (大教協)	入門 (理論)	技術業務	参 考 奉 仕・書誌	図書館経営	情報 システム	語学	その 他
1997 (金 a)	文献情報 学基礎	資料組織	参考奉仕	図書館経営	情報学	書誌学	
1999 (金 b)	文献情報 学一般	情報組織	参考・書 誌情報サ ビス	図書館・情 報センタ経 営	情報学		
	入門、 情 報 技 術、 語学	分類、 目録、 分類・目 録 の 実 習、 索引、 シソラス	情報調査 提供、 主題書誌 情報源、 マルチメ ディア情 報提供、 I L L E D D	館 種 別 経 営、図書館 経営政策論	図書館自動 化、 情報検索、 情報システ ム、 知識構造論、 情報通信ネ ットワーク、 情報工学、 電子図書館、 情報政策		

III . 司書資格

図書館及び読書振興法（1994年制定）初・中等教育法

区 分	資 格 要 件
1 級正司書	文献情報学博士学位を有する者 2 級正司書資格証を所持し、文献情報学以外の博士学位を有する者、 または情報処理技術師の資格を有する者 2 級正司書資格証を所持した上で、6 年以上の図書館勤務経歴を有し、 修士学位を取得した者 2 級正司書資格証を所持した上で、9 年以上の図書館勤務経歴を有し、 指定の教育機関で所定の教育課程を履修した者
2 級正司書	大学の文献情報学を専攻した者 文献情報学修士学位を取得した者 教育大学院で司書教育修士学位を取得した者 文献情報学以外の修士学位を取得した上で、指定の教育機関で所定の 教育課程を履修した者 準司書資格証を所持した上で、修士学位を取得した者 準司書資格証を所持した上で、3 年以上の図書館勤務経歴を有し、指 定の教育機関で所定の教育課程を履修した者 大学を卒業し準司書資格証を所持した上で、1 年以上の図書館勤務経 歴を有し、指定の教育機関で所定の教育課程を履修した者
準司書	短大の文献情報科を卒業した者 短大を卒業し、指定の教育機関で所定の教育課程を履修した者 大学在学中文献情報学を副専攻した者
司書教師	42 単位以上の文献情報学と所定の教職科目（20 単位）を履修した者 準教師以上の資格を所持した上で、所定の司書教諭養成講習を履修 した者 教育大学院などで司書教育課程を専攻し、修士学位を取得した者 （文献情報学専攻者として教職科目を履修しなかった者のみ可能） 師範大学の文献情報学専攻者

実技教師（司書）：短大の文献情報科専攻者で教職科目 4 単位を履修した者

参考：館種別図書館数（2003 年度）

公共図書館：462

大学（図書館）：358

学校（図書館）：10,269

専門図書館：

IV . 現在文献情報学科が抱えている問題点

1. 大学の競争力強化のための「大学改革」、「大学総合評価制」で学部制を実施

政府は 1996 年から大学教育の競争力強化を目標に学部制を要求。学部制の特徴は 学生募集単位の広域化と最小専攻単位認定制 (1998 年「高等教育法施行令」により拍車)。

1) 最小専攻単位認定制

特徴：学生の希望によって 1 つあるいは 2 つ以上の専攻が可能。2 つの専攻を履修する場合、専攻履修単位は総履修単位の 1/4 (30 ~ 36)、3 つの専攻を履修する場合は 1/6 (20 ~ 24) (cf. 現在、大学の卒業履修単位の平均は 120 ~ 140, 専攻履修単位は 30 ~ 36)

長所：入学後多様な専攻 (複数専攻) の選択が可能で、幅広い学習が可能。

主題専門司書の養成が可能、

第 2 専攻として選択される場合が増え文献情報学専攻者の底辺が拡大。

問題点：専攻必修科目の数の制限を廃止

学生の科目選択次第に科目が閉講される事が生じ、体系的な教育が不可能になり、教育の質的低下

また、短期大学との間に資格認定の衡平性の問題、

司書教諭との履修単位の差の問題、

「全国文献情報学科教授協議会」では 54 単位以上を要求、

履修した単位による資格認定の必要性に関する議論。

大学院教育センターの情報専門家養成制度に関する議論が始まる。

2) 学部制実施の影響

特徴：university (大学校) - college (大学) - division (学部)

類似した専門分野を 1 つの学部のもとに置き、募集定員は学部単位で決定。

学生専攻選択権を保障

長所：学際研究および教育の拡大

問題点：人気専攻と非人気専攻との間に学生数の格差が深刻

学問発展の不均衡、基礎学問の崩壊現状

競争力を維持できる学部の構成および名称の問題

専攻履修単位の減少で教科課程の修正が必要 (専攻必須科目の制限および廃止、

類似科目の統合、科目数の調整、教科科目開設の困難、学問の体系的教育が困難

(学生の選択によっては廃講が続出) 学科制に戻る大学もある。

3) 32 大学の文献情報学科の学部制構成の現況

区 分	大学数	特筆事項
人文科学系列	14	知識情報学部 文献情報学専攻 記録管理学専攻
社会科学系列	11	情報映像学部 言論映像学 文献情報学
人文社会科学系列	4	情報管理学科群 地域情報学 文献情報学
その他 理科大学	1	情報科学部 コンピュータ科学 マルチメディア科学 文献情報学
情報科学大学	1	情報学部 コンピュータ専攻 データ情報専攻 文献情報専攻
師範大学	1	文献情報教育科

2. 学問としてのアイデンティティの確立：学問としての在り方についての省察と反省

社会および大学の変化は、文献情報学の大学内での相対的競争力の問題だけではなく、学問としての特徴、アイデンティティを真剣に検討することを要求

- 1) 米国教育への偏向からの脱皮、
研究（理論）と現場の格差の問題
- 2) 研究内容と方法に関する反省
伝統的な図書館学の核心領域についての無関心
- 3) 新しい研究内容と方法の模索と実践
韓国の図書館現場の改善に役立つ研究。
具体的な図書館現実を研究対象とする理論と方法を開発、
学問の土着化、自生的自己準拠的研究、
軟性資料を利用した質的研究のためには硬い科学主義的文体よりは、「雑な」
書き方が適切であるという主張。